

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：建設業（機械器具設置工事）

企業名：北海道共伸特機株式会社（北海道札幌市）

【従業員数：33名】

クラウド実践による業務の脱属人化と社員の生産性向上により利益率を向上

## 1 経営課題

- ・社員同士の案件進捗や作業スケジュール等の情報共有することで、業務が属人化を防止し、社内リソースの稼働を高め、労働や業務内容の偏りを解消する。
- ・事業規模拡大に伴い仕事量に対応するため、不十分なシステム活用による紙資料、手作業手計算による管理を解消し、社員の生産性を向上する。

## 2 クラウド実践による課題解決

- ・案件進捗・売上状況・作業スケジュールなどを情報共有するため、勤怠管理、見積書の管理・ペーパーレス化など様々な業務課題を一元管理できるクラウドサービスを開発した。
- ・当初は、クラウドが実務に合わず重複して作業が発生し、社員のクラウド利用の浸透に苦労した。
- ・専任スタッフを配属し、社員からのヒアリング、経営課題より現場課題の解消を優先して整理し、実務に合わせたクラウドサービスのカスタマイズを実施した。

## 3 導入したクラウドサービス（導入期間：6年）

- ・株式会社セールスフォース・ドットコム Salesforce Platform
- ・Google G Suite（Salesforce に紐付け）

## 4 課題解決に向けた組織運営

- ・システム専任スタッフを採用し、経営者に近い位置に配属した。経営者がIT推進役であったため、経営層と社員との調整役として、経営課題・現場課題のヒアリング、とりまとめ、クラウド活用の提案なども兼務した。

## 5 実践事例の成果

- ・脱属人化にむけて、クラウド上で、案件情報を時間と場所を問わず確認できるようになり、問合せへの対応時間が丸一日要していたが大幅に短縮された。
- ・運用ルールを見直し、クラウドへ置きかえたことで、管理部門でのデータ入力集計等の作業がほぼ0になった。また、報告書作成などの事務作業も全体で月8時間ほど短縮した。
- ・業務日報等ペーパーレス化することで紙の消費を年間あたり約5000枚（A4）削減した。
- ・案件ごとに工数やコストを把握でき、案件ごとの平均利益率は4%増加（2015年会計年度と2018年会計年度を比較）した。